

378 「あなたの^{こえ}声がききたい

聴覚障害の^{ちやうかくしょうがい}両親^{りやうしん}に^{そだ}育てられて」

岸川 悦子／文 佼成出版社 2006年

みみがふじゆうなおとうさんとおかあさんにそだてられた^{かなこ}加奈子はかなしいおもいもたくさんしましたが、やさしく、すなおにそだちました。

びょういんでりょうしんがくろうしたのをみて、^{しゅわ}手話のできるかんごしさんをめざします。

このおはなしはほんとうにあったおはなしです。

378 「なまけて^{おとこ}なんかない!

ディスレクシアの^こ男の子のはなし」

品川 裕香／作 岩崎書店 2017年

ようちえんでは、かけっこもえほんもだいすきで、ともだちもたくさんいるりんぞうくん。たのしみにしていたしょうがっこうでみんなみたいにじがよめず、せんせいやおかあさんにしかられてしまいます。

かなしくてだいすきなようちえんのせんせいのまえでなきだしてしまおうと、せんせいがどうすればいいかかんがえてくれました。

どんなきもちかな？

～いろいろなしょうがいをする^{ほん}本～



P/W 「どんなかんじかなあ」

和田 誠／え くもん出版
2012

ひろくんはめがみえないともだちや、みみがきこえないともだちがどんなかんじなのかやってみます。

いままでしらなかったせかいがひろがります。

※^{えほん}絵本の表示^{ひょうじ}について、^{せいきゅうきごう}請求記号は「P」であらわしています。

また、^え絵をかいた人の名前^{ひと}順^{なまえじゆん}で本^{ほん}だ^{なら}に並んでいます。

例：^{れい}P/W…和田 誠／え

ひのしりつとしよかん 日野市立図書館 しょうがいしゃサービス



369 「障^{しょう}がいて、なあに？」

障^{しょう}がいのある人^{ひと}たちのゆかいなおはなし」

オードリー・キング／絵・文 久野 研二／やく
明石書店 2004年

“しょうがい”のある人はとくべつな人なのかな？ほんとうはみんなとおなじ。たくさんのかのうせいをもっています。

“しょうがい”のある人のせいかつをおもしろい^え絵^えでせつめいしています。



378 「ルイ・ブライユと 点^{てんじ}字^じをつくった人^{ひと}びと」

高橋 昌巳／監修 岩崎書店 2016年

“ルイ・ブライユ”は5さいで目^めが見えなくなりましたが、もちまへの好奇心^{こうきしん}とかなしこさで、あきらめずに努力^{どりょく}をかさね、ついに“点^{てんじ}字^じ”をつ^{つく}りあげました。

どのように点^{てんじ}字^じができたか、日本^{にほん}ではどのように^{ひろ}に広^{ひろ}まったかなど^しも知^しることができる本^{ほん}です。

Pホ 「ありがとう、フォルカーせんせい」

パトリシア・ポラッコ／作・絵 香咲 弥須子／訳

岩崎書店 2001年

トリシャは本^{ほん}が大好き^{だいす}き。でも自分で読^よもうとすると字^じがくねくねしたかたち^みにしか見えません。じょうずに本^{ほん}が読^よめないことをともだち^みにからかわれ、^{がっこう}学校^{がっこう}をずるやすみしてしまいます。

5年生^{ねんせい}の時^{とき}、新^{あたら}しくやってきたフォルカー先生^{せんせい}がトリシャを^か変^かえてくれました。



Pハ 「わたしのそばできいていて」

リサ・パップ／作 菊田 まりこ／訳

WAVE出版 2016年

マディはこくごのじかん^みがだいきらい。うまく読^よめなくて、せんせいからはいつも「がんばりましょう」のハートのシールばかりもらいます。

ある日としょかんのテンプルさんから「ボニーに本^{ほん}を^よんであげてくれない？」といわれます。ボニーはふわふわのしろいいぬ。やさしくきいてくれるボニーにほんをよんであげるうちにマディはすこしずつ本^{ほん}がじょうずに読^よめるようになっていきます。